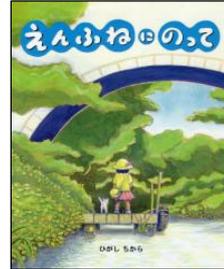


夏休みにおすすめする本

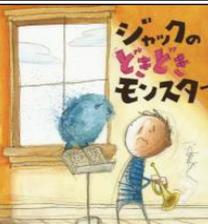
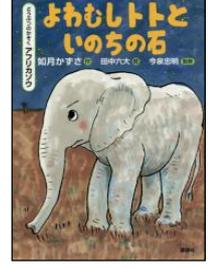
選定 北海道学校図書館協会

選定協力 札幌市学校図書館協議会

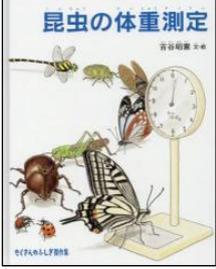
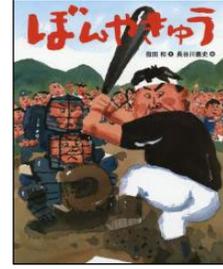
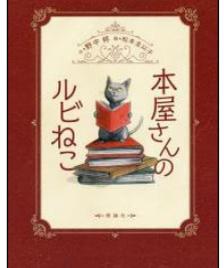
☆幼児

 <p>「ねえ、どうして？」男の子がお父さんに聞きました。アイヌの深い知恵に学ぶ命の物語。アイヌの人々に伝わる早口言葉を元にしてあります。アイヌのお父さんは、「わたしたちは、みんな土からうまれてきたのだ」と子どもに教えます。(パル舎 1999. 3刊行の再刊)</p> <p>ロクリン社 1700円＋税</p>	 <p>寒い日に息が白い犬を見て、犬も息をしていることに気づいた僕は、息について考えていきます。わかりやすく息から呼吸、地球環境を描いた絵本。「中川ひろたかのせいかつかがく絵本」シリーズ</p> <p>アリス館 1400円＋税</p>	 <p>静かで落ちついた暮らしが好きな象のヘンリエッタさんが、ある日 がちょうの雛を育てることに。ふりまわされる日々ですが、やがて巣立ちの日がきて…。</p> <p>岩崎書店 1400円＋税</p>	 <p>幼稚園バスならぬ園船(えんふね)で向かう様子には、自然と触れ合うドキドキワクワクがまっています。そこに、思いがけず、ちょっと困った、でもとってもしっかりハブニングが…。</p> <p>BL出版 1300円＋税</p>	 <p>あまがえるのラッタ、チモ、アルノーの3匹が、かくれんぼをして遊んでいると、ラッタの体がへんな色に。一体どうしてしまったのでしょうか。</p> <p>世界文化社 1200円＋税</p>
--	--	--	--	--

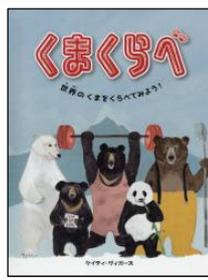
☆小学校・低学年

 <p>冒険が大好きなアレックスが、何だっけと大忙しのお母さんに船のプレゼントをしました。魔法の船で、お母さんと過ごす、楽しい空想にわくわくする絵本。</p> <p>徳間書店 1500円＋税</p>	 <p>がんばって練習していたのに、発表会の当日、ジャックの前にあらわれたのは、どきどきモンスター。逃げても隠れてもくっついてくるし、どんどん大きくなってくるし…。初めての不安をいねいに描いた絵本。</p> <p>光村教育図書 1400円＋税</p>	 <p>念願の子犬を飼えるようになったマディは、「一番大事なことは、ずっと大好きでいること」と教えてもらう。ある日、シュルターに行ったマディが、感じ、行動したこと…。</p> <p>WAVE出版 1400円＋税</p>	 <p>当たり前にも思っている太陽の秘密や仲間たち、地球との関係を、太陽本人がとてもわかりやすい語り口で教えてくれる 宇宙科学の入門絵本。</p> <p>小学館 1400円＋税</p>	 <p>あおむし、アマガエル、ミツバ子など身近な生き物の食事と排泄の様子を鮮明な写真で紹介しています。きれいな写真とわかりやすい構成で生き物への興味が生まれる絵本。</p> <p>ひさかたチャイルド 1300円＋税</p>
 <p>泣き虫で甘えん坊の子象トは、病に倒れた大好きな母を助けたい一心で、勇気を振りしぼり一夜のサバンナに飛びこみます。巻末には「まめちしき」があり、お話を楽しみながらアフリカゾウに詳しくなれる童話。</p> <p>講談社 1200円＋税</p>	 <p>初めて学校に行ったソフィーは、お友だちはほしくないし、全然楽しもうとしません。そんなソフィーにスティープンという男の子がいつも近づいてきて…。「ソフィーの絵本」2冊目。</p> <p>光村教育図書 1400円＋税</p>	 <p>1年生の教室に、1年生先生のやぎこ先生。子どもたちとやぎ先生の楽しくて温かいやりとりで、きっと共感するでしょう。</p> <p>福音館書店 1700円＋税</p>	 <p>目に見えないけれど、僕のお兄ちゃんはずごいんだ。暗闇でも本が読めるし、記憶力がいいし。弟からみた兄との生活を透視感のある絵で描いた絵本。</p> <p>光村教育図書 1200円＋税</p>	 <p>数えきれないほどたくさんのイワシ、時に数十億匹もの数にふくれあがる群れが、他の魚や鳥、クジラに食べられ、人間にも捕えられるが、生き延びたイワシが命を継ぎます。</p> <p>福音館書店 900円＋税</p>

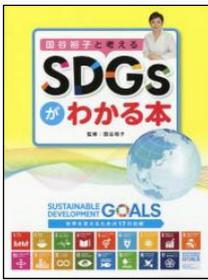
☆小学校・中学年

 <p>ゾウの体重は4000kg以上。では、テントウムシなどの小さな昆虫の体重はどうでしょう。色々な昆虫の重さをはかったり比べたりします。</p> <p>福音館書店 1300円＋税</p>	 <p>家で、学校で、社会で、いろいろな人から、いろいろなことを“学ぶ”。 ゆっくりでいいから、自分のリズムで学んでいこうと結んでいる写真絵本。</p> <p>アリス館 1400円＋税</p>	 <p>昭和30年頃から開催されてきた、ご先祖様を供養するための「盆野球」。 2011年の東北大地震以来途絶えていたが、2017年復活した実話が絵本になったもの。</p> <p>ポプラ社 1300円＋税</p>	 <p>みんなが食べている果物は、どんなふう実をつけるか知っていますか？ フランスが舞台の物語ですが、サクランボ、クリ、ピーナッツなど、日本でもなじみのある果物の実のつけ方を知ることができます。</p> <p>BL出版 1700円＋税</p>	 <p>4年生の由紀は「魔女になりたい」という願いをかなえるために、「魔法」を信じないつばさをまきこみ、魔女修行を始めてしまう。 どんな魔女に出会い、どんな修業をするのか。魔女のレッスン、初級編。</p> <p>出版ワークス 1400円＋税</p>
 <p>翔平もまさとも、おれの知っている二人じゃない。俺は、なにかなのはずみで、違う世界に来てしまったのだろうか？ 日常の友情と新たな友情が心にしみる。</p> <p>岩崎書店 1200円＋税</p>	 <p>本屋さんの片隅で本に積もったほこりから生まれた小さな猫のルビ。チップスという友だちもできて冒険に出かけることに…。 本屋さんの看板猫をめざして張り切るルビの物語。</p> <p>理論社 1400円＋税</p>	 <p>上野動物園のパンダの歴史や地元の人たちの思い、パンダの保護活動について、詳しく分かる本。 シャンシャンの成長の様子も分かる。</p> <p>フレーベル館 1380円＋税</p>	 <p>治らないと言われた病気を食事によって克服した佐藤初女さん。心をこめて、おむすびを作り、みんなを笑顔にする。 “食べることは命をいただくこと”を実践している人の物語。</p> <p>PHP研究所 1400円＋税</p>	 <p>認知症になった祖母を慕う孫娘ジュリア。 現実を受け止めて寄り添う心温まる物語。</p> <p>マイクロマガジン社 1500円＋税</p>

☆小学校・高学年

 <p>小手鞠ふい、 少女は森から やってきた</p> <p>殻と同じこもって、友達と距離をおきたいと思っていた美幸。そこへ、アメリカからエリカが転校してきた。宇宙人のようなエリカとの交流が美幸の心を広げていく。六年生の少女の物語。</p> <p>PHP研究所 1400円＋税</p>	 <p>ようこそ！ 葉っぱ科学館</p> <p>葉っぱにこだわった写真絵本。写真だけでなく、葉っぱの生き残るための知恵や葉に付く虫など、葉っぱを通して見える科学のお話がたくさん掲載されている1冊。「植物たちの声を聞くとええ先生のわ！観察記」</p> <p>少年写真新聞社 1500円＋税</p>	 <p>夕焼け色の わすれもの</p> <p>転校生の忘れ物を届けに来た翔太と純は、いつの間にか不思議な団地に入りこんでいる。昭和にタイムスリップ？と思われたが、祖父の持っている本の世界と同じで…。祖父から翔太にこめた少年時代の思いが迫ってくる。</p> <p>講談社 1400円＋税</p>	 <p>くまぐま</p> <p>ヒグマ、ホッキョクグマ、ツキノワグマにジャイアントパンダまで、世界中のさまざまなくまの生態をくらべている。食事、泳ぎ、木登りなどをイラストとともにわかりやすく学べる。</p> <p>東京書店 1380円＋税</p>	 <p>モンゴメリーの王国 からくり本屋</p> <p>本屋さんの前に置き去りにされたモノ。そのまま本屋の子どもの三人目として暮らすことになった。そんなとき、「モンゴメリー一本の王国」という大きな本屋のオーナーにみごと当選、ロンドンへと引っ越すのだが…。</p> <p>フレーベル館 1400円＋税</p>
 <p>チキンタ!</p> <p>教室の中で下忍のポジションにいる卓球が大好きな男女3人組。クラスで行うレクを卓球にしたいと勇気を出して闘います。少数数の意見は切り捨てられてしまうのか…。</p> <p>ポプラ社 1300円＋税</p>	 <p>東京</p> <p>おじいちゃんと散歩に出かけたばく。ところが進んでいくうちに、おじいちゃんが子どもの頃の東京の景色が見えてきた。いつもの東京が知らない景色へと変わっていく。江戸から東京へ、まちの記憶を感じる旅の絵本。</p> <p>ポプラ社 1500円＋税</p>	 <p>先生之介 走る!</p> <p>熊本自身で本人も被害にあった獣医師竜之介先生。ペットは避難所には入れないことも多い中「ペット同伴避難所」を開設。のべ1500組の動物と飼い主さんを救った汗と勇気のストーリー。小説のように書かれているので読みやすい1冊。</p> <p>ポプラ社 1400円＋税</p>	 <p>ナマコ天国</p> <p>ナマコ酢、このわた、としてお酒好きの大人には知られているナマコ。その生き物としての全体像を知る人は少ないだろう。ダイナミックな絵と共にナマコの不思議や全体が、丸ごと分かれます。</p> <p>偕成社 1600円＋税</p>	 <p>日本カエル探検記</p> <p>カエルのことが大好きな関さん。最近カエルが減ってきていると感じ、日本全国のカエルの住みかをまわります。カエル探検をしているうちに様々なことが分かってきました。日本のカエル全48種類。まるごと1冊、カエルだらけの写真絵本。</p> <p>少年写真新聞社 1600円＋税</p>

☆中学校

 <p>SDGs(持続可能な開発目標)が、最近話題になっている。90ページで、わかりやすく説明。</p> <p>文溪堂 4500円+税</p>	 <p>ことばを探して街をかけまわる国語辞典編纂者の奮闘記。国語辞典を作る仕事について、アニメ版「舟を編む」の監修もつとめた著者が豊富な実例をまじえて語る。 ポプラ社ノンフィクション(33) ~生きかた~</p> <p>ポプラ社 1200円+税</p>	 <p>ファッションに興味があり、周りとはなじめないフランスは、「今まで誰にも見えなかった」幽霊の少女と出会い、少しずつ状況が変わっていく。</p> <p>徳間書店 1500円+税</p>	 <p>初めての職場体験先が、「博物館」に決まった5人の中学生。「博物館かあ。いったい、どんなことをするんやろ」最初は全く期待していなかったが・・・そこは、まさかの奇跡の部屋だった。</p> <p>理論社 1400円+税</p>	 <p>フォトジャーナリスト 久保田弘信の原点と、アフガニスタンなどでの取材経験などが語られる。</p> <p>汐文社 1500円+税</p>
 <p>人間は、呪縛から逃れられない生き物か? 「雪とバイナブル」の作者であり、医師でもある鎌田實が、患者と向き合う中で身で感じた生きる意味を、そのために持っているほしい「呪縛から脱する力」を未来に進む十代に向けて語る。</p> <p>理論社 1300円+税</p>	 <p>時は1983年。おじいちゃんはだんだん色んなことが、わからなくなってきた、イギリス空軍のパイロットとして振舞うようになってしまった。「たそがれホーム」へ入れられたおじいちゃんに面会に行ったとき、孫のジャックは院長のあやしい行動を目撃して・・・。</p> <p>小学館 1600円+税</p>	 <p>頑固な祖父とペットのシロと畑に行くボク・・・。少しずつ弱っていく祖父と、娘や孫たちの、ふりまわされる姿を描きつつ、高齢者の「尊厳」を考えさせる。</p> <p>理論社 1400円+税</p>	 <p>プラスチックによる海洋汚染について。マイクロプラスチックや海洋プラスチック憲章(2018年6月)など最新の話題も含む。</p> <p>旬報社 1400円+税</p>	 <p>『太陽ときみの声』の続編。朝日中高生新聞にて2017年10月1日～2018年3月25日まで連載の作品に、加筆・修正を行ったもの。</p> <p>朝日学生新聞社 1200円+税</p>

☆高等学校

 <p>世界を舞台に生きる漫画家・ヤマザキマリ。その母、リョウコは著者を出産後すぐに夫と死別する。その生き方はアツパレでスゴくて、温かくて、笑えて、感動!</p> <p>文藝春秋 1300円+税</p>	 <p>開店休業同然の閑古鳥が鳴く高校図書館。図書委員の男子ふたりが、図書館に持ち込まれる謎に挑み、自身の問題にも向き合う物語。</p> <p>集英社 1400円+税</p>	 <p>知に裏打ちされた目で論じられた時事問題エッセー。特に「自己承認欲求」と「自己主張」の違いは秀逸。</p> <p>ちくま新書1384 筑摩書房 780円+税</p>	 <p>断家になるべく15歳で内弟子となり、厳しい修行に耐えやつと二つ目に。今までの反動が破天荒な生活を送りついに破門に・・・。 現役の落語家が描く若き落語家の奮闘記。</p> <p>KADOKAWA 1600円+税</p>	 <p>日露戦争直後の北海道を舞台にした人気漫画『ゴールデンカムイ』。その作品世界はアイヌ文化をあらゆる角度から理解することが出来る。 アイヌ語の専門家が案内する魅力的アイヌ文化入門。</p> <p>集英社(集英社新書) 900円+税</p>
--	--	--	--	--